

全国小学生プログラミング大会

高橋君(5弘大付年)2連覇

独自のプログラムで制作したアプリなどの出来栄を競う「全国選抜小学生プログラミング大会」の県大会(東奥日報社主催、リンクステーション特別協賛)が17日、青森市の東奥日報新町ビル内「seven C's(セブンシーズ)」で開かれた。「目指せ青森の郷土料理マスター!!」を発売した高橋一喜君(弘大付小5年)が最優秀賞に選ば

れ、2連覇を果たした。大会には小学4〜6年の3人と1団体が出場。作



最優秀賞に輝いた高橋君

品の特徴や発想のきっかけを3分間で紹介した後、審査員と質疑応答を行った。

高橋君は好物の汁を友達が知らずに驚いた経験から、郷土料理を学べるゲームを制作。本県のさまざ

まな郷土料理の材料を覚えて当てる内容で、誰もが楽しめるよう音声や写真を多く取り入れた。

来年3月の全国大会(東京)に出場する高橋君は「ゲームで郷土料理に興味を持ってもらい、未来でも食べ続けられてほしい。アドバイスを基にさらに改善する」と話した。(野村遥)

そのほかの入賞者は次の通り。

- ▽審査員賞 太田寛人(筒井小5)▽アイデア賞 チームおいらせ||佐々木智香(百石小4)佐々木吉秀(木内々小6)▽リンクステーション賞 市村蛍(大野小6)